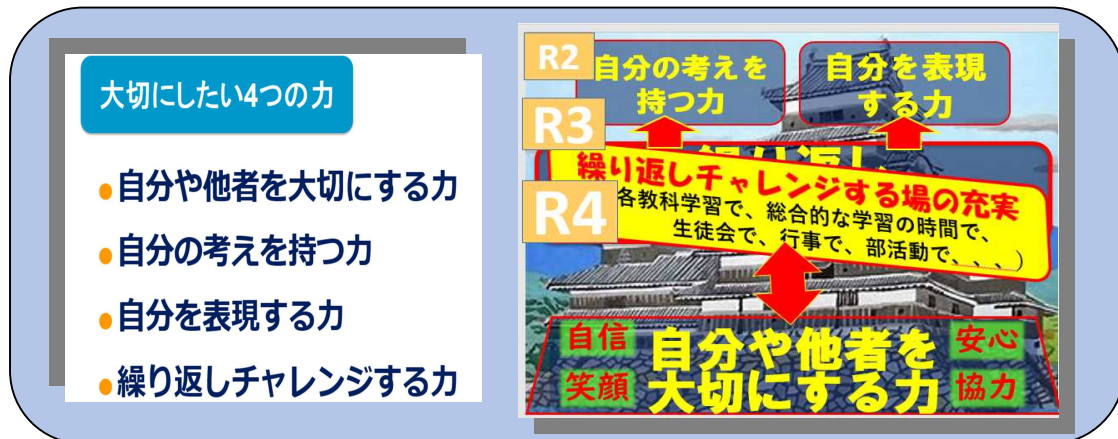


山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第3号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

令和4年度 野沢温泉中学校の教育方針と最近の様子から



1 「繰り返しチャレンジする力」が伸びる野沢温泉中学校に！

令和4年度の野沢温泉中学校は、生徒71名（1年14名、2年32名、3年25名）、教職員19名で無事スタートしました。昨年度との学校体制の違いとしては、次の3点があります。

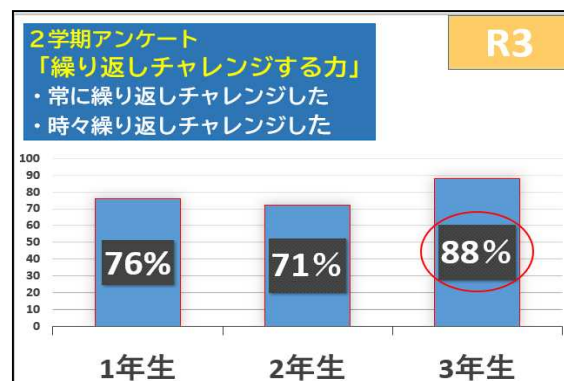
- (1)LD 等通級指導教室のサテライト校をお認めいただき、校内に「ぶなの森」通級教室を開設することができ、毎週水曜日に岸田丈子先生に担当していただいていること。
- (2)県の非免許解消特別加配をお認めいただき、技術科の授業を岩本秀昭先生に担当していただいていること。
- (3)部活動指導員として、清水 暁さんに野球部の指導をしていただいていること。

また、村教育委員会には、「地域支援センター担当」として藤村祥江先生を配置していただきました。早速、本校の教育活動を地域とつなげることにご尽力いただいております。大変心強く、ありがたく感じております。

さて、令和4年度の野沢温泉中学校では、大切にしたい4つの力を掲げ、特に「繰り返しチャレンジする力」が伸びるような学校づくりを進めたいと考えております。昨年度より「繰り返しチャレンジする場の充実」を図ってまいりましたが、本年度もさらに拡充していきたいと思っております。

学校生活の様々な場面で、繰り返しチャレンジしてみることで自己理解を深めたり、新たな自己の可能性に気づいたりする様子が、これまでの生徒アンケートから見えてきています。

教科学習で、総合的な学習の時間で、生徒会で、部活動で、学校行事で、家庭生活で、...。子どもたちの繰り返しチャレンジする姿に期待し、教職員一同、支えていきたいと思っております。



2 村内・外の「ひと、もの、こと」とのかかわりを通して

「ふるさと野沢温泉村を心に刻む」教育活動を充実させたい

「ふるさと野沢温泉村を心に刻み 心を世界に拓き 心豊かな人間性を育む教育」を考えたとき、子どもたちが、村の「ひと、もの、こと」と豊かにかかわり、体験的に五感を通して学ぶような教育活動を実施することは、「心に刻む」上で大切であると考えています。

しかし、コロナ禍のもとでの教育活動が続き、感染リスクを少しでも避けるために、この2年間、体験的に学ぶような教育活動は、むしろ制限せざるを得ませんでした。

本年度も、コロナ禍の状況に変わりはないのですが、国や県の感染者数もだいぶ減少し(今のところ)、令和2年度、3年度と制限せざるを得なかった教育活動の再開が期待されております。

40年以上続く伝統行事「竹の子狩り」を実施(6/15) * 昨年度2年ぶりに再開



昨年度見直しを行った、総合的な学習の時間も大変充実してきました。6月10日には、1年生が「山つつじの植樹活動」(つつじ山公園)に参加しました。「村づくりの一端を担い、村の将来について主体的に考える力を養うこと」を願って計画された活動でした。2年生も3年生も「野沢温泉村の未来を担う人材づくり」を合言葉に、子どもたちの発想を大切にしたユニークな実践が地域を舞台に始まっております。活動の様子は学校のホームページで紹介したり、野中祭(9/30)で報告したりする予定ですので、楽しみにしてください。

3年ぶりの実施となる千葉県御宿町との「海の子 山の子」交流(7/20~22)



また、3年ぶりの再開となる御宿町との交流も楽しみです。野沢温泉村を離れて交流学习をするなかで、子どもたちはきっと、あらためて、ふるさと野沢温泉村を見つめ直し、心に刻む機会となることでしょう。

3 野沢温泉学園最後の3年間ということ

右の写真は、昨年度の卒業式直前に、こども園の園児たちが、竹の子の缶詰のお礼にと、卒業祝いの桜茶用の桜の塩漬を届けに来てくれた場面です。

思えば、中学校を卒業するということは、野沢温泉学園を卒業するということ。生徒たちには、「学園最後の3年間」を意識し、学園のリーダーとして、こども園や小学校とのつながりを大切にしていってほしいと思います。



～ お 知 ら せ ～

☆野沢温泉学園の「いじめ・体罰・セクハラ・パワハラ等の相談窓口」

学級担任等以外にも、校長・園長、教頭・主任、養護教諭が
窓口になっております。いつでもお気軽に相談してください。

☆体罰に関する長野県の相談窓口

- 子どもや保護者の声をお聴きします・・・
 - ・「学校生活相談センター」(心の支援課内) 0120-0-78310
 - 【24時間子どもSOSダイヤル】
- 小・中学校に関することは・・・
 - ・義務教育課 026-235-7426
- 特別支援学校に関することは・・・
 - ・特別支援教育課 026-235-7456
- 高等学校に関することは・・・
 - ・高校教育課 026-235-7430
- 部活動・社会体育に関することは・・・
 - ・スポーツ課 026-235-7448
- 青少年に関することは・・・
 - 「長野県子ども支援センター」(こども・家庭課内)
 - ・子ども専用ダイヤル(無料) 0800-800-8035
 - ・「なんでもハロー青少年」(次世代サポート課内) 026-235-7100

☆ 義務教育課では、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができます。

下記の宛先等をご活用ください。

宛 先	長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛
住 所	〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電 話	026-235-7426 (直通)
FAX	026-235-7494
E-mail	taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp